

## 県オリジナル品種「甲斐トウ果17」の普及に向けて

### 農業革新支援スタッフ【果樹】

大玉で着色良好、新たな肉質のモモ新品種「甲斐トウ果17」が、「夢桃香」(ユメトウカ)として商標登録されました。平成18年に「モモ山梨6号(ちよひめ×八幡白鳳)」を母に、「日川白鳳」を父に交雑し、選抜しました。成熟期は果樹試験場(標高440m)において7月上旬で、「日川白鳳」より3日程度後に収穫始めとなります。



## 病害虫診断サポートシステムの活用を

### 農業革新支援スタッフ【野菜】

総合農業技術センターでは、ナスとスイートコーンのほ場での病害虫診断を手助けするシステムを開発しました。このシステムは、様々な写真が収録されており、スマートフォンやタブレットにインストールすることによりほ場で診断することができます。

システムの入手については、地域普及センターや各JAにお問い合わせください。無料で利用できますので病害虫の診断に活用してください。



## 専門学校山梨県立農業大学校 令和3年度の入学生を募集します!!

山梨県立農業大学校は、21世紀の農業・農村社会を担うにふさわしい実践力と経営感覚を備えた農業経営者の育成を目指しています。

学校説明会 (本校にて)	第1回	6月20日(土) 10時~12時	学校説明・見学会
養成科・専攻科 共通	第2回	8月1日(土) 10時~15時	学校説明・体験学習
	第3回	8月22日(土) 10時~15時	学校説明・体験学習
	第4回	9月5日(土) 10時~12時	進学相談会
	第5回	10月31日(土) 10時30分~12時	進学相談会(収穫祭)

入学試験	科	願書受付期間	試験期日	合格発表日
推薦	養成科 専攻科	令和2年9月10日(木) ~9月23日(水)	10月7日(水)	10月21日(水)
一般	養成科 専攻科	令和2年11月5日(木) ~11月18日(水)	12月3日(木)	12月16日(水)
		令和3年1月14日(木) ~1月27日(水)	2月9日(火)	2月19日(金)

\*6月1日現在の予定です。  
新型コロナウイルスの影響により、やむを得ず変更や中止となる場合もあります。

問い合わせ  
専門学校山梨県立農業大学校  
〒408-0021 北杜市長坂町長坂上条3251  
TEL:0551-32-2269 FAX:0551-32-2034  
https://www.pref.yamanashi.jp/noudai/index.html



スモモの受粉実習



花き苗の鉢上げ実習



トラクター運転実習

# 山梨県普及センターだより

編集&発行：山梨県農政部農業技術課  
〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6-1  
TEL:055-223-1619 FAX:055-223-1622  
http://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/  
E-mail:nougyo-gjt@pref.yamanashi.lg.jp

No. 49

令和2年6月20日発行

## 新型コロナウイルスにより、影響を受けた農業者の皆様へ

### ふんばろう! やまなし 農業者相談窓口開設のご案内

- ・売上げが減少し、資金繰りに困っている
- ・既往借入金の返済について見直しをしたい
- ・今後の経営を見直したい(栽培作目の選定等) などのご相談に応じます

#### <主な支援メニュー>

- 持続化給付金  
事業の継続を下支えし、再起の糧としていただくため、事業全般に広く使える給付金です。
- 制度資金等への特例措置  
当初5年間実質無利子、実質無担保・無保証人、当初5年間保証料免除等の特例措置が受けられます。

(平日9:00~17:00)

	担当部署	問い合わせ先
JA北富士	総務課	0555-72-1439
JA鳴沢村	総務課	0555-85-2470
JAクレイン	信用部融資課	0554-20-8807
JAフルーツ山梨	ローンセンター	0553-22-7707
	営農指導部	0553-32-6526
JAふえふき	ローンセンター	055-265-1611
JA山梨みらい	営農販売部営農指導課	055-223-9664
JA南アルプス市	企画管理部	055-283-7114
JA梨北	購買部	0551-23-4573
JA山梨中央会	JA担い手サポートセンター	055-223-3503
JA山梨信連	食農法人営業部	055-223-3521
JA全農やまなし	営農販売部営農企画課	055-223-3548

	担当部署	問い合わせ先
中北農務事務所	農業農村支援課	0551-23-3292
峡東農務事務所	農業農村支援課	0553-20-2707
峡南農務事務所	農業農村支援課	055-240-4116
富士・東部農務事務所	農業農村支援課	0554-45-7806

(平日・休日8:30~19:00) ※休日対応は6月末までの予定

山梨県農政部農業技術課 055-223-1616



### 安全な農作業を こころがけましょう

少しの油断が大きな事故を引き起こします。「農作業は焦らず、急がず、慎重に!」を合い言葉に、農作業事故にはくれぐれも注意してください。

### 農業危害防止運動 期間6月1日~9月30日

令和2年度運動テーマ「**農薬は、周りに配慮し、正しく使用!**」

農薬を使う機会が増えるこの期間に、ラベルの確認、防護具着用、飛散防止対策実践、散布器具洗浄、農薬の適正保管などを改めて徹底し、農業事故を防ぎましょう。

## 中北地域普及センター

### I o Tを活用した施設野菜のハウス内環境制御について

中北地域普及センターでは、管内の施設野菜生産者を対象に、新品種の導入・定着や病害虫防除対策の徹底等、生産安定に向けた支援をしています。

施設野菜の生産では、温度や湿度といったハウス内環境の把握が必要ですが、散在するハウスへ度々足を運ぶことは生産者にとって大きな負担となっています。

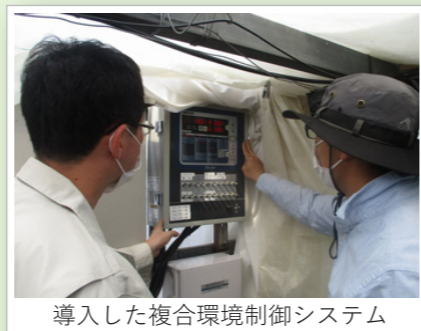


きゅうりの生育状況

そこで、当普及センターでは、J A南アルプス市の施設きゅうりの若手生産者グループと、IoT(Internet of Things:モノのインターネット)を活用したハウス内環境制御技術に取り組むことにしました。

ハウス内にIoTセンサーを導入し、スマートフォンでハウス内の温度、湿度を確認できるようにしたところ、温度変動の大きい時期におけるハウス内環境の確認に要する時間を、約50%削減することができました。

また、複合環境制御システムを導入し、天窗、ハウス内カーテン、加温機を効率的に管理することにより、重油使用量の削減を図っているところです。普及センターでは、今後も関係機関と連携し、施設野菜の産地の維持・強化に向けて支援していきます。



導入した複合環境制御システム

## 峡東地域普及センター

### モモせん孔細菌病の早期根絶に向けた取組について

昨年、峡東地域でも多発したモモせん孔細菌病について、昨年の秋季防除～本年の春季防除に加え、枝病斑のせん除などの耕種的防除を行い、産地全体で菌密度を下げる対策がとられているところです。

峡東地域普及センターでは、管内J Aや市、果樹試験場と連携し、モモせん孔細菌病防除対策会議などにおいて、現状と問題点の共有を図り、今後の対策を徹底するため、防除のポイントを分かりやすく示した防除対策資料を作成し生産者に周知しました。

また、枝や葉、幼果における発生状況調査を行い、今後は収穫期における果実調査と併せて発病の少ない条件や適切な管理作業の事例調査を実施する予定です。

今後も関係機関と連携し、モモせん孔細菌病の早期根絶に向けた支援を行っていきます。



発生状況調査



作成した対策資料



## 峡南地域普及センター

### スイートコーン『甘々娘』の省力的な管理技術の実証

市川三郷町では、今年もスイートコーン『甘々娘』が収穫期を迎えています。地域では、トンネル被覆栽培が主に行われ、こまめな換気管理で高品質な生産に取り組んでいますが、特に今年はトンネル被覆期間中に暖かい日が多く、生産者は早い時期からトンネルの換気を開始し、こまめに調整していました。一方で、換気作業は多くの時間を要するため、省力化が望まれています。

そこで、当普及センターではJ A山梨みらい西八代地区野菜部会と協力し、トンネル開閉作業の省力化に向けて、トンネルを夜間も部分開放する換気方法やトンネル換気作業が不要な被覆資材を実証し、慣行の換気作業と同程度の品質になると確認しています。

引き続き普及センターでは、安定して高品質な『甘々娘』を収穫できるように、換気作業の省力化と併せて、新たなトンネル資材についても発芽や生育を検討していきます。



現地実証ほの様子

## 富士・東部地域普及センター

### GWの出荷を目指したレタス栽培の取り組み

中央自動車道上り線の談合坂サービスエリア内にある農産物直売施設「談合坂S Aやさい村」では、上野原市内の農業者が栽培した新鮮で品質のよい農産物を販売しています。都心へ向けての最後のサービスエリアという好立地条件もあり、観光客など多くの消費者が立ち寄り、連日、賑わいをみせています。

こうした中、販売が好調である一方、「談合坂S Aやさい村と言えば〇〇」といった特徴的な品目がなく、また品目によっては出荷時期が集中してしまうという課題がありました。そこで、「談合坂S Aやさい村」では、出荷時期の分散と需要が高いゴールデンウィーク(GW)に合わせた新たなブランド品目として「GWレタス」の栽培に取り組んでいます。



普及に向けた取組として展示ほ場を設置し、本年はGWに出荷するための定植時期の確認と栽培方法の周知を図りました。

その結果、12月下旬に播種し、2月下旬に定植することにより4月下旬から出荷が可能となり、収穫されたレタスは品質も良好で、直売所では直ちに完売となるなど非常に好評でした。

今後も「GWレタス」の栽培定着と「談合坂S Aやさい村と言えばGWレタス」と言われるようなブランドづくりに向けた支援に関係機関と連携しながら取り組んでいきます。